

域住民の不安を解消できるものと考えている。

地域の公民館等への井戸の設置状況は、市内172の町内会の中、井戸があるのは35町内で、25町内では、現在も飲料水や生活用水として活用している。

今後、必要性がより高いと思われる地区を見極め、整備にあたり補助を行うなど、支援によって地域における水源確保の充実に努めたいと考えており、各町内会の意向や現状を詳しく把握した上で、防災井戸モデル地区のような位置付けをした上で進めてまいりたい。

また、来年度の取り組みとしては、地区長連合会の11ブロック会を対象に、設置場所を調整し、ブロック会ごとに1カ所程度の整備に対する支援を考えている。

（掲載以外の質問事項）  
・水道水の給水停止について  
・国保事業について



### 公共施設の洋式トイレ（シャワー付き）の普及・改善について



吉田千鶴子議員

**質問** 公共施設のトイレは、和式が多く、高齢者や体が不自由な人が困っている。洋式トイレを増やしてほしいとの市民の声が寄せられたことから伺います。

**市長** 市の施設のトイレの現状は、約2千5百基の大便秘器があり、和式便秘器が52.5%、洋式便秘器は47.5%と、ほぼ半々という状況にある。

シャワー暖房付き便座トイレについては、全体の9.1%で、多目的トイレが設置されている施設は約80カ所、全体の49.4%であり、全ての人に配慮したトイレの一定の整備は進んでいると考えている。

公共施設のトイレの何%を洋式とすることが適当なのか、統一した決まりや目標値はない状況にあり、全てを洋式とすることも適当ではないと考えている。

今後、改善改修整備を進め

る上で、維持管理のしやすさや施設用途に対応したトイレのあるべき姿を示す指針等が必要だと考えており、公共施設そのものの在り方を踏まえ、横断的な視点から、公共施設の再配置計画を進める中で、トイレの改善改修の方向性を探ってまいりたいと考えている。

（掲載以外の質問事項）  
・かかし祭りで観光客の誘致及びリアルかかしについて

### 寄付の禁止について

政治家（候補者、立候補予定者、現に公職にある者）が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、政治家本人が出席する場合の結婚祝いや香典などの特定の場合を除き、法律で禁止されています。有権者が求めてもいけません。



贈らない・求めない・受け取らない

### 常任委員視察会

各常任委員会では、議会活動の一層の充実を図るため、先進都市の優れた行政や施設などを視察し、今後のまちづくりに役立てていきます。

#### 【総務委員会】

期日 平成25年10月29日～31日  
場所 沖縄県那覇市・中部広域市町村圏事務組合・名護市

内容 本市において整備を進めている市役所新庁舎整備事業に資するため、那覇市の新庁舎整備事業を視察しました。那覇市庁舎は中心市街地に再建されたため駐車場の問題に直面しており、市役所への来客者を含めて有料化の取組を行っております。本市のウララにおいては、商業施設が入居しており、駐車場の利用に関し整理が必要となっていることから、一つの先進事例として参考になりました。沖縄県中部広域市町村圏事務組合は、9市町村によって構成される特別地方公共団体



名護市役所前にて

で、構成市町村の協力・連携のもと、圏域にまたがる様々な共同ソフト事業に取り組んでいるとともに、多様な行政課題に対処している姿勢が参考となりました。

名護市においては、地域づくりコーディネーターについて研修しました。コーディネーターを雇用することで、地域資源の発掘、エコツーリズムの推進及び農産物・水産物の6次産業化において、様々な主体を連携させ地域活動を活性化させており、参考となる事例でありました。